

## 道後温泉本館周辺地区

- 所在地： 愛媛県松山市
- 地区面積： 約 26.0 ha
- 応募者： 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会、愛媛県、松山市

### ■地区の概要

当地区は松山市の中心部から北東約2キロに位置する都市型観光地である。日本最古の温泉地区道後は、道後温泉本館の他多くの歴史的資産・宿泊所が点在し、四国を代表する観光産業地域である。国の重要文化財である道後温泉本館に過度に依存し過ぎたことにより、これまで地域として一体化した景観まちづくりが行われなかったことへの反省をふまえ、「道後温泉誇れるまちづくり推進協議会」を中心に結束し、官民協働で景観まちづくりへの取り組みが行われてきている。

国の重要文化財である道後温泉の本館から醸し出される雰囲気や周辺にしみ出させ、さらに道後への玄関口である道後温泉駅から、本館までのルートにテーマを設定して歴史漂う官民一体となったファサードが整備され、観光客を意識した整備だけでなく、地域住民のまちに対する愛着も引き出された。また、かつて道後温泉本館の西側正面口の車道（県道）の車の往来が激しく利用者はとても危険なうえ、景観を阻害していたため、車道を振り替えて西側正面口を歩行者専用道に整備し、安心・安全を感じる景観広場が確保された。また旅館街では、景観に配慮した良好な建築物が見られるとともに、各旅館による足湯の提供などにより、来街者の回遊ルートとなっている。

また、この地域では景観計画だけでなく、地元による景観ガイドラインに基づいた景観まちづくりが継続して実施されており、今後も住民、事業者、官の協働による良好な景観まちづくりを進めていく方向である。

### ■審査講評

悠久の昔から偉人や文人墨客に愛され、幾多の文献にも登場する日本最古の温泉地である。明治中期に建造された道後温泉本館は国の重要文化財としてその偉容を誇り、多くの利用者が訪れる生きた文化財として地区の中心的存在となっている。本館を含め対象地区には歴史の厚みを辿ることが出来る建造物が数多く残り、温泉街独特の街並風情とともに景観的魅力や賑わいを創出している。

この豊かな資産を活かし文化、観光、景観の各面から温泉街として更なる向上を目指し、「百年の景」を旗印に官民一体となった取り組みが積極的に行われていることは高く評価できる。主たる取組みは、1) 本館周辺の道路景観、歩行者空間整備 2) ファサード整備 3) 歴史的景観整備 4) 景観保全 の4つの柱からなる。とりわけ本館周辺の道路整備は県道と市道の付け替えにより歩車を分離することで豊かな歩行者空間とスムーズな車動線確保に成功した。駅前広場や本館周辺の沿道建物はガイドラインによるファサード整備が進みつつあり今後のトータルな景観形成に期待がもてる。さらに温泉街として多彩なイベントを開催するなどハードとソフトの両輪がバランスよく連携した都市型温泉街の好例である。(富田)



道後温泉本館（写真中央）周辺地区を冠山の眺望点から北を望む。明治27年に建設された道後温泉本館を中心に歴史漂う景観まちづくり・情緒あふれる景観形成がなされている。



道後温泉本館西側正面口の夜景。車道（県道）を東側（市道）に振り替えて歩行者専用道に整備、安心・安全を感じる景観広場を確保した。



道後温泉駅から商店街入り口方面を望む（駅前坊ちゃん広場）。街路整備がなされ、沿道建築物のファサードなどが改築された。



県道六軒家石手線を北から道後温泉本館を望む。県道六軒家石手線は道路・歩道整備・電線類地中化整備がされた。